

# 北の隣人2018

ズドラーストヴィチェ  
こんにちは！ **Здравствуйте!**

～四島交流事業、地域創生推進事業など～



北海道北方領土対策根室地域本部

## 目 次

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| ◆ 北方領土の概要 . . . . . 1  | ◆ 自由訪問 . . . . . 13       |
| ◆ 四島交流（受入） . . . . . 3 | ◆ 共同経済活動 . . . . . 17     |
| ◆ 四島交流（訪問） . . . . . 7 | ◆ 北方領土視察等 . . . . . 17    |
| ◆ 北方墓参 . . . . . 10    | ◆ 北方領土返還要求運動 . . . . . 19 |
| ◆ 特別墓参 . . . . . 12    | ◆ 地域創生推進事業 . . . . . 21   |

## 北方領土の概要



### はじめに

択捉(えとろふ)島、国後(くなしり)島、色丹(しこたん)島及び歯舞(はぼまい)群島は、私たち日本人が開拓し、父祖伝来の地として受け継いできたもので、歴史的にも、国際的な取り決めから見ても、いまだかつて一度も他国の領土となったことのない日本固有の領土です。

しかし、昭和20年の終戦直後にソ連軍の不法占拠により島民は島を追われ、それが現在まで続いています。日本固有の領土である北方領土の返還は日本国民の大きな願いです。

北方領土問題を解決し、一日も早い返還を実現するためには、まず日露両国民の一人ひとりが北方領土についての正しい理解と認識を深めることが大切です。

本冊子では、相互理解を深め、領土問題の解決を含む平和条約締結問題の解決に寄与することを目的とした四島交流を中心に、北方墓参、自由訪問、地域創生推進事業など、北方領土対策根室地域本部が関わった北方領土関連事業を分かりやすくまとめました。

本冊子を通し、北方領土問題を解決して平和条約を結び、日本とロシアとの間に真の相互理解に基づく安定的な関係を築くことの大切さを感じ取っていただけたら幸いです。

### 北方領土までの距離～わずか3.7kmのところにある島

北方領土について、とても遠い北の小島だと思われかもしれませんが、最も近い歯舞群島の貝殻(かいがら)島までは、根室市の納沙布岬からわずか3.7kmしか離れておらず、肉眼で灯台を見ることができるようです。国後島までは別海町の野付半島から16kmで、新潟市と佐渡島間の距離の約半分です。色丹島まで73.3km、択捉島までは144.5km。北方領土とはこんなにも近くにある島々なのです。

【P1, 2】 ※平成30年国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」等による

## 北方領土の自然

択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島の四島を合わせた面積は5,003.1 k㎡で、千葉県や福岡県とほぼ同じ大きさです。

気候的には黒潮と親潮の影響により、1年を通して寒暖の差が小さく、気候は根室地方と大差はありません。最も暑い8月の平均気温で16℃前後、最も寒い2月の平均気温は-6℃前後です。夏季を中心に霧が多く発生し、冬季の積雪はあまり多くはありません。

動植物では、シマフクロウ、エトピリカやクジラ、イルカ、ラッコ、アザラシ、さらにはヒグマ、クロテンなどのたくさんの野生動物が生息しています。

森林は、トドマツ、エゾマツ、カシワ、シラカバ、ナラなどで形成されています。

現在では、四島側で広範な「自然保護区」を設定していることと、人の活動する場所が限られていることもあって、比較的豊かな動植物が分布しています。

## 択捉島

日本で最も北側に位置する全長204kmの島で、北方四島の中で最大の島です。その面積は、3,167.8k㎡あり、鳥取県とほぼ同じ大きさです。火山島で温泉も多く、散布(ちりっぷ)山(1,582m)をはじめ、1,000mを超える山も少なくありません。

## 国後島

根室半島と知床半島との中間に位置している面積1,489.9 k㎡の細長い島で、沖縄本島よりも大きい島です。典型的な火山島であり、四島中最高峰の爺爺(ちゃちゃ)岳(1,772m)があります。材木岩、蠟燭岩等の奇岩があり、温泉も10数カ所ありますが、利用のための施設はほとんどありません。

## 色丹島

根室半島のはるか東に位置している面積250.6 k㎡の島で、徳之島(鹿児島県奄美群島の1つ)とほぼ同じ大きさです。全体が緑で覆われ、とても美しい島として知られています。

## 歯舞群島

根室半島の東端、納沙布岬の沖合に点在する島で、水晶(すいしょう)島、秋勇留(あきゆり)島、勇留(ゆり)島、志発(しぼつ)島、多楽(たらく)島のほか、貝殻島や萌茂尻(もえもしり)島などの島々からなっています。これらの島々の面積は94.8 k㎡で、小笠原諸島(東京都)とほぼ同じです。



写真:国後島近布内にて、虹がかかった蠟燭岩  
(第5回四島交流訪問事業 平成30年9月28日撮影)

# 四島交流受入(第1回・ファミリー)



別海町でのせんべい焼き体験の様子です。自分たちで実際にせんべいを焼いた後、おいしくいただきました。



中標津町のしいたけ菌床施設での様子です。しいたけ栽培について学んだ後で、自分たちでしいたけを採り、その場で焼いて食べました。



標津町でのそば打ち体験の様子です。職人さんに教えてもらいながら一生懸命作りました。できあがったそばは皆さんでいただきました。



羅臼町の千人踊りに参加している様子です。普段着ることのないはっぴをはおり、町民と一緒に踊りました。



根室市内牧場でのバター作り体験の様子です。一生懸命作った後、作ったバターをパンに塗っていただきました。



根室市内学校での学校体験の様子です。地元の学生と一緒に折り紙で紙飛行機などを作り、飛ばして遊びました。

# 四島交流受入(第2回・青少年)



札幌市円山動物園の見学の様子です。初めて見る動物もたくさんいて、強く印象に残り素晴らしいものでした。



チアダンス教室での記念撮影です。チアダンスには女性訪問団が参加し、チアダンスを通して、友情を深めました。



釧路市内博物館の見学の様子です。北海道の自然の歴史などを学習しました。



根室市での夕食交流会の様子です。地元の高校生と一緒に楽しい時間を過ごしました。



根室市内の中学校での学校訪問の様子です。手つなぎオニなど遊びを通して、生徒と親睦を深めました。



北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)でのまとめの研修会の様子です。滞在中に印象深かったことや思い出に残ったことを発表し合いました。

# 四島交流受入(第3回・日本語習得)



札幌での日本語研修の様子です。訪問団員たちは宿泊施設から研修会場まで毎日通学しました。また、札幌市内の名所を散策し、日常的に日本語に触れることで、効率的に日本語を学ぶことができました。



札幌市内の大学生との交流の様子です。交流を通して、親睦が深まりました。



札幌ドームでの野球観戦の様子です。ロシアでは野球はマイナーなスポーツで、野球を知るいいきっかけとなりました。



北方四島交流スピーチコンテストの様子です。研修の終盤にスピーチコンテストが行われ、日本語を学ぶロシア人が日本語で、ロシア語を学ぶ日本人がロシア語でスピーチを披露し、お互いの学習の成果を確認しました。



# 四島交流受入(第4回・網走市)



網走市のモヨロ貝塚館見学の様子です。貝塚館では貝塚遺跡を実際に見たり、映像による説明を通して古代の人々の暮らしを学びました。



オホーツク流水館見学の様子です。オホーツクに住む生き物たちを見たほか、マイナス15度の流水体験を行いました。



網走市での日本舞踊体験の様子です。一緒に日本舞踊を踊り、日本の文化を体で感じました。



網走市での住民交流会の様子です。みんなで網走オリジナル体操「カニチョッ筋体操」を行い、盛り上がりました。

## 北方四島交流事業

四島交流では、これまで日本人と四島在住のロシア人による率直な意見交換、ホームステイビジット、文化体験などが行われることにより、信頼と友好関係が培われ、交流のすそ野は着実に広がってきています。

また、ファミリー交流及び青少年交流の積み重ねにより、双方共に10代の参加者も多くなってきており、元島民の高齢化が進む中、時代を担う返還要求運動の後継者育成の観点から交流事業の充実・強化が図られています。今後とも、領土問題の解決に向けた環境づくりのため、これまで培ってきた信頼と友好関係を土台として、正しい領土問題の認識をはじめ四島在住ロシア人との相互理解を深めるなど、四島交流を一層推進していきます。

### 平成30年度における四島交流実施状況 【四島交流受入】

四島側訪問団	実施月日	行程	団員数
第1回(ファミリー)	6月16日～6月19日	根室管内1市4町	67名
第2回(青少年)	6月28日～7月2日	札幌市	60名
第3回(日本語習得)	7月3日～8月3日	札幌市	16名
第4回(一般)	9月21日～9月25日	網走市	58名
合計			201名

※北方四島交流北海道推進委員会主催分

# 四島交流訪問(第1回・択捉島)



第1回目の訪問。快晴の根室港から択捉島に向け出発しました。



紗那墓地での墓参の様子です。メインは四島住民との交流ですが、訪問地での墓参も行います。



住民交流会では、折り紙や和紙を使い、日本の季節の行事を紹介したり、意見交換を行いました。



紗那にあるサケ・マスのふ化場を視察しました。翌週には稚魚を放流するというので、たくさんの稚魚がいました。



ホームビジットの様子です。ロシア人夫婦がロシア料理でおもてなしをしてくれました。



住民交流会の様子です。サッカーワールドカップロシア大会の話で盛り上がりました。

# 四島交流訪問(第2回・色丹島)



根室港を出発してから船内で、元島民の語り部やロシア語講座が行われます。写真は語り部の様子です。



色丹島の幼稚園視察の様子です。かわいいキャラクターと園児たちが歓迎してくれました。



色丹島の消防署とスポーツ施設の見学の様子です。この他にも水産加工場、発電所、展望台なども見学しました。青い床の体育館や変わった形の消防車があり、日本との違いに驚きました。



住民交流会での訪問团による金管五重奏によるコンサートの様子です。



レストランでの夕食交流会の様子です。みんなで食べて、踊って、大いに盛り上がりました。

# 四島交流訪問(第5回・国後島)



国後島に上陸後、近布内(ちかぶない)の蠟燭岩周辺を散策しました。綺麗な虹がかかっています。



友好の家でのロシア語講座の様子。翌日の交流会のためにみんなで簡単なロシア語の勉強をしました。



国後島にある正教会の視察の様子です。教会の中で神父さんのお話を聞いた後、教会の屋上に上がり、大きな鐘を鳴らしました。



団員の中学生(コンサドールズ)が地元のチアダンスチームと合同でダンスを披露しました。



住民交流会での交流の様子。室内では日本人の訪問団がロシア人の子供に折り紙を教えながら一緒に折り紙を楽しみました。また、屋外では国後の学生が企画してくれた綱引きなどをみんなで楽しみました。



## 平成30年度における四島交流実施状況 【四島交流訪問】

日本側訪問団	実施月日	訪問先	団員数
第1回(一般)	6月1日～6月4日	択捉島	65名
第2回(一般)	7月20日～7月23日	色丹島	65名
第3回(後継者)	8月17日～8月20日(延期)	国後島	-
第4回(後継者)	9月5日～9月8日(中止)	択捉島	-
第5回(教育関係者・青少年)	9月28日～9月30日	国後島	64名
	合計		194名

※北方四島交流北海道推進委員会主催分

# 北方墓参(第1班・多楽島(フルベツ、ヒラリウス))



フルベツ墓地慰霊式にて追悼の辞を述べる芦崎団長

北方墓参では初めての2世団長となった芦崎団長率いる第1班は、7月17日に多楽島に向け出港しました。天候に恵まれ予定していたフルベツ墓地及びヒラリウス墓地において慰霊式を行うことができました。慰霊式後は、周辺を散策し居住地跡等を確認しました。

また、従来の古釜布での手続きではなく、多楽島沖で手続きが行われたため、渡航時間は2時間以上短縮され、高齢者の方々の負担が大きく軽減されました。



フルベツ墓地前での集合写真



ヒラリウス浜に向かう「えとびりかⅡ」



ヒラリウス墓地での慰霊式の様子



ヒラリウス墓地での集合写真

# 北方墓参(第2班・国後島(泊、東沸))



ケラムイ浜での慰霊式にて追悼の辞を述べる村副団長



東沸沖での洋上慰霊式にて追悼の辞を述べる清水団長



解団式の様子

北方墓参第2班は、当初日程は8月8日から8月10日までの予定でしたが、台風13号の影響で10日の天候が危ぶまれたことにより日程を短縮することとしました。また、泊は外交当局間の調整がつかず、ケラムイにて慰霊式を行うこととなりました。

8日は、古釜布での手続後にケラムイ崎沖に移動し、小型交通艇「えとぴりかⅡ」にてケラムイ浜に上陸し慰霊式を行いました。翌日は天候・波の状態により東沸への上陸は叶わず、船上での洋上慰霊式を行いました。慰霊式の途中から雨が降り出さず濡れとなりましたが、その日のお昼に無事根室に戻ることができました。

## 北方墓参

昭和39年に人道的観点から、旅券・査証なしの身分証明書による入域という特別の方式により開始された北方墓参は、昭和43年及び昭和46年から48年までの間は、ソ連側の同意が得られず中断。昭和49年、50年は日本側の強い要請により実施されましたが、昭和51年以降はソ連が入域に際し旅券・査証を要求したため、再度の中断を余儀なくされました。その後、昭和61年1月及び5月の日ソ外相間定期協議において再開されることで合意され、同年8月、11年ぶりに歯舞群島及び色丹島での墓参を実施しました。また、平成元年には19年ぶりに国後島、平成2年からは択捉島への墓参も開始され、現在は四島すべてにおいて墓参を実施しています。

北方四島に52カ所ある墓地すべての墓地で墓参を実施し、平成31年3月末現在の延べ参加人数は4,751名(うち遺族3,644名)に達しています。

## 平成30年度における墓参実施状況

墓参団	実施月日	島名及び訪問地名	団員数
第1班	7月17日～7月19日	多楽島(フルベツ、ヒラリウス)	40名(うち遺族26名)
第2班	8月8日～8月9日	国後島(泊、東沸)	53名(うち遺族39名)
第3班	9月10日～9月13日 (中止)	択捉島(留別、ポンヤリ、年萌、オンネベツ)	—
計			93名(うち遺族65名)

# 特別墓参



古釜布墓地での集合写真



紗那墓地での慰霊

航空機はロシアのチャーター便を利用し、7月22日に中標津空港を出発し、国後島内空港で手続を行いました。その後、国後島班と択捉島班の二つのグループに分かれて、それぞれの墓地に向かいました。昨年は悪天候による中止等がありましたが、今回は無事慰霊式を行うことができ、国後島班は友好の家に宿泊、択捉島班は紗那のホテルに宿泊して、翌日、無事に中標津空港に戻りました。団員からは「飛行機による墓参は体力的に楽だ」「1泊することで時間にゆとりができた」「飛行機の墓参を今後も継続して欲しい」という肯定的な声が多くありました。



中標津空港での出発式



使用した航空機

## 特別墓参について

特別墓参は、元島民の平均年齢が高齢化しているということで、元島民の方々の身体的負担を少しでも軽減するという人道的観点から、これまで船を利用して四島に渡って行っていた墓参を、船の代わりに飛行機で四島に渡り墓参を行うものです。

昨年度に初めて、航空機による北方領土特別墓参(国後島、択捉島)が9月23日に実施されました。

平成30年5月の日ロ首脳会談において、昨年に引き続き、航空機を利用した特別墓参を実施する事が合意され、7月22日～23日の1泊2日の日程で実施されました。

## 平成30年度における特別墓参実施状況

実施月日	島名及び訪問地名	団員数
7月22日～7月23日	国後島(古釜布墓地、近布内墓地)	44名(うち遺族29名)
	択捉島(紗那墓地)	26名(うち遺族10名)
	計	70名(うち遺族39名)

# 自由訪問(第1回・第2回)

## 第1回自由訪問(色丹島)



根室港出港の様子



ポンデバリ浜での慰霊の様子



能登呂(のとり)散策の様子

今年度初めてとなる北方四島への訪問事業は、うねりを回避するため、ヨコネモシリ浜に上陸し、キリトウシ墓地と相見崎(あいみさき)墓地の合同慰霊祭を行いました。翌日能登呂(のとり)沖に向かい、ポンデバリ浜に上陸し能登呂墓地の慰霊祭を行った後、能登呂の旧居住地跡などを散策しました。

## 第2回自由訪問(択捉島)



入里節(いりりぶし)墓地へ向かう様子  
(奥の山は択捉最高峰「西単冠(にしひとかつぶ)山」)



入里節墓地での慰霊の様子

第2回自由訪問は、入里節(いりりぶし)墓地にて慰霊祭を行った後、3つの班(入里節班、マタルザル班、十五夜萌(じゅうごやもえ)班)に分かれ、移動し周辺散策を行いました。そのうち十五夜萌には上陸することができず、船上から洋上慰霊を行いました。

# 自由訪問(第3回・第4回)

## 第3回自由訪問(択捉島)



豊浜沖での洋上慰霊祭の様子



グヤ沖洋上慰霊祭での集合写真

第3回自由訪問は、6月22日に根室港を出港するも、波、うねりともに高く初日は択捉に向かわず国後島白糠泊(しらぬかとり)沖にて船内宿泊しました。翌日択捉島豊浜沖に移動するも海上状況は回復せず、翌24日に上陸は断念し、船上にて洋上慰霊を行いました。

## 第4回自由訪問(志発島)



カフエノツ墓地での慰霊の様子



トッカリイソ散策の様子



解団式の様子

第4回自由訪問は、7月14日、モトモシリ、ウエンベツへ上陸し居住地跡を確認することができました。午後からカフエノツに上陸し、カフエノツ墓地にて墓参を行いました。翌日も3班(カフエノツ、トッカリイソ、トッカリムイ)に分かれ、散策を行いました。

# 自由訪問(第5回・第6回)

## 第5回自由訪問(択捉島)



乙今牛(おといまうし)の浜の様子



シヤスリ墓地での慰霊の様子



薬取(しべとろ)墓地での集合写真

8月4日、海上状況によりスケジュールを変更して太平洋側のトシルリ沖に向かい、えとぴりかⅡにて上陸を試みるも、大量の昆布に阻まれ上陸することができず、洋上慰霊を行いました。翌日は薬取(しべとろ)に無事上陸しました。薬取墓地までは笹藪などが繁っており渡邊団長の電動草刈機により墓地まで移動し、墓地内もきれいに草刈りをした後、慰霊式を行いました。その後、乙今牛(おといまうし)沖へ移動して上陸、シヤスリ墓地にて慰霊を行いました。また、ポロス出身者がポロスに上陸し視察することもできました。

## 第6回自由訪問(国後島)



サクマンベツ浜での慰霊の様子



ポンキナシリ散策の様子

ポンキナシリ浜に上陸を試みましたが、干潮で水深が浅く上陸を断念しました。サクマンベツ浜で上陸できる地点を探して上陸し、慰霊式を実施した後、ポンキナシリ方面へ散策を行いました。翌日はうねりが高く上陸することができず、中ノ古丹(なかのこたん)沖での洋上慰霊となりました。

# 自由訪問(第7回)

## 第7回自由訪問(択捉島)



ウエンバフコツ墓地での集合写真



旧内保散策の様子



根室港帰港の様子

9月1日、内保(ないぼ)浜に上陸し、ウエンバフコツ墓地で慰霊祭を実施しました。その後、2班(内保班、旧内保班)に分かれて、それぞれの居住地跡など散策しました。翌日は、希望者のみでの神居古丹(かむいこたん)への上陸を考えておりましたが、海上状況が悪化したため上陸を断念し、帰途につきました。

### 自由訪問

平成10年11月の日露首脳会談で、人道的見地から元島民及びその家族が、最大限に簡素化された形で北方領土へ訪問する、いわゆる自由訪問事業を実施することについて原則的に合意がなされました。その後、これに基づき平成11年9月11～12日、千島歯舞諸島居住者連盟が主体となり、自由訪問第一陣の訪問団44名が歯舞群島(志発島)を訪問しました。翌平成12年からは、北方四島すべてにおいてこの自由訪問が実施されており、平成30年度末現在で計96回、延べ参加人数は4,864名(うち元島民等3,843名)に達しています。

### 平成30年度における自由訪問実施状況

訪問団	実施月日	島名及び訪問地名	団員数
第1回	5月11日～5月14日	色丹島(能登呂、キリトウシ、相見崎)	60名
第2回	6月6日～6月9日	択捉島(入里節、十五夜萌)	40名
第3回	6月22日～6月25日	択捉島(トマカラウス、グヤ)	41名
第4回	7月13日～7月16日	志発島(カフェノツ)	57名
第5回	8月3日～8月6日	択捉島(シヤスリ、薬取)	57名
第6回	8月13日～8月16日	国後島(ポンキナシリ、中ノ古丹)	44名
第7回	8月31日～9月3日	択捉島(ウエンバフコツ、内保)	40名
計			339名

# 北方四島における共同経済活動に関する「ビジネス・ミッション」の派遣



取材を受ける長谷川総理大臣補佐官（団長）



石垣根室市長も参加

平成28年12月の首脳会談で合意された、北方四島における共同経済活動については、早期に取り組むプロジェクトとして、①海産物の共同増養殖プロジェクト、②温室野菜栽培プロジェクト、③島の特性に応じたツアー開発、④風力発電の導入、⑤ゴミの減容対策の5件の候補が特定されており、平成30年9月、これらの実施に向けた「ロードマップ」が承認され、同年10月には、「ビジネス・ミッション」が北方四島に派遣され、日露双方の事業者間で建設的な意見交換を行うとともに、候補地などの視察を実施しました。

## ○ビジネス・ミッションの概要

日程 平成30年10月2～5日

構成 長谷川総理大臣補佐官を団長に、海産物の増養殖13名、温室野菜栽培4名、観光9名、風力発電5名、ゴミ減容8名、その他同行者で構成

### 「ロードマップ」の主要な柱

- ①海産物の共同増養殖  
：ウニを含め複数の魚種を対象とし、ウニ以外の魚種についても議論を継続。
- ②温室野菜栽培：いちごの品種及び実施場所を特定。
- ③島の特性に応じたツアーの開発：パッケージツアーを策定。
- ④風力発電の導入：風況調査の場所を確定。
- ⑤ゴミの減容対策  
：ゴミ減容のパイロット・プロジェクトの実施場所を確定。

## 福井照内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方） [8月1日～2日]

福井照大臣が『来て・見て・感じて！「ねむろ地域」の魅力再発見・発信シンポジウム』への出席及び北方領土視察等のため、根室管内を訪問されました。

8月1日開催のシンポジウムには高橋知事もパネリストとして出席しました。

シンポジウム終了後、大臣は「地域の熱意を感じた。観光客、修学旅行の来訪を増やす仕組みを考えたい。」と述べられました。

### 【シンポジウムの様子】



羅臼昆布倉庫での昆布のヒレ借り体験



洋上からの北方領土視察

# 北海道議会北方領土対策特別委員会道内調査 [8月28日～30日]

8月28日～8月30日の日程で北海道議会北方領土対策特別委員会が道内調査のため根室管内を訪れました。8月28日は羅臼町で、8月29、30日は根室市で意見交換会が行われ、北方領土関連施設を視察されました。元島民との意見交換会では、後継者対策、財産権等について意見が交わされました。協理事長は後継者対策については、「北特法の改正により、予算の問題が解消に向かい、ありがたく思います。」と述べられました。

## 【8月28日】

- ・北方領土館
- ・羅臼国後展望塔
- ・元島民との意見交換会

## 【8月29日】

- ・北方館
- ・納沙布岬
- ・元島民、1市4町、関係団体との意見交換会

## 【8月30日】

- ・根室市北特委との意見交換会

## 【道内調査員】

- 千葉委員長
- 池端副委員長
- 高橋委員
- 喜多委員
- 森委員
- 金石委員
- 中司委員
- 松浦委員
- 沖田委員
- 道見委員
- 田中委員
- 浅野委員
- 太田委員



千葉委員長の発言の様子



協理事長の発言の様子



羅臼国後展望塔視察



納沙布岬視察

# 北方領土視察 宮腰光寛内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方) [10月16日～17日]

宮腰光寛内閣府特命担当大臣が北方領土視察、関係団体等との要望・懇談会及び元島民との意見交換会を行うため、根室管内を訪問されました。

北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)で行われた関係団体等との要望・懇談会では、「1日も早い北方領土返還の実現、隣接地域の振興、さらには元島民の皆様方の援護、これらは皆様方と心を1つにして進めていくべき課題である。」と述べられました。

続いて行われた元島民との意見交換会では、「後継者の方々が返還運動に、1世の方々と同様に参加していただけるよう、これからもしっかりと環境整備を行っていきたい」と述べられました。

翌17日には、根室市、別海町、標津町で北方領土関連施設等を視察されました。

## 【10月16日】

- ・関係団体との要望懇談会
- ・元島民等との意見交換会

## 【10月17日】

- ・北方館 望郷の家
- ・納沙布岬
- ・別海北方展望塔
- ・サーモン科学館



宮腰大臣の発言の様子



協理事長の発言の様子



望郷の家視察



納沙布岬視察

# 根室管内での北方領土返還要求運動



## 「見て知る北方領土」展示会(5・8・11月・1～2月)

北方領土問題をより一層理解していただくため、返還要求運動、四島交流・北方墓参・自由訪問の様子や「北方領土の日」ポスターコンテストの受賞作品などを紹介しました。根室振興局1階道民ホール、道立北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)、道の駅「スワン44ねむろ」、大地みらい信用金庫本店で開催しました。



## 北方領土返還要求根室市民大会(8月)

根室市で毎年開催され、今年度は8月5日に実施されました。イベント内では「四島を返せ」などのシュプレヒコールや、マジックショーなどのアトラクションも実施され、楽しく北方領土問題への関心を深めることができました。



## 北方領土返還要求運動強調月間街頭啓発(8月)

北方領土対策根室地域本部では、毎年8月の強調月間に合わせて署名活動を実施しています。今年度は、インターン大学生2名を交え、総勢25名で署名活動を行い、北方領土イメージキャラクターの「エリカちゃん」も登場し、194筆もの署名をいただきました。



## 第14回北方領土まで歩こう会(9月)

9月16日に開催されました。北方領土までの距離と近さを体験しながら、国後(16km)、水晶(7km)、貝殻(3.7km)の3コースに分かれゴールの納沙布岬を目指して約700人が参加されました。



## 「千島桜」を用いた啓発活動

北海道では、今年度北海道遺産にも登録された北方領土返還要求運動のシンボルマークの花「千島桜」をデザインしたピンバッジやシールなどを活用し、幅広く国民・道民の皆さんに北方領土問題への関心を持っていただけるように取組を行っています。

# 根室管内での北方領土返還要求運動



## 2019「北方領土の日」根室管内住民大会

毎年、「北方領土の日」の2月7日に開催している本大会では、根室管内の住民が一堂に会し、北方領土問題の解決と平和条約締結に向けて「原点の声」を全国に発信しています。また大会では、根室管内の中学生による弁論発表も行われました。右の写真はシュプレヒコールの様子です。



## 「北方領土の日」特別啓発期間街頭啓発(2月)

北方領土対策根室地域本部では、毎年根室市内で開催される「ニムオロ冬の祭典」に合わせて会場で署名活動を実施しています。来場者の多くの方々にご協力をいただき、242筆もの署名が集まりました。

また、当本部における新たな取り組みとして若者向けの北方領土問題啓発イベント「2019“北方領土”の集い」を開催しました。イベント内では、地元高校生による北方領土学習成果の発表会を行ったほか、ポップコーンやわたあめの無料配布などを行い、子供から大人まで幅広く、北方領土について楽しく学んでいただきました。



## 第17回「北方領土の日」ポスターコンテスト・

### 北方領土中学生作文コンテスト

北海道主催で毎年実施している当コンテストにおいて、根室管内から多数の作品が受賞されました。特に、作文コンテストにおいては羅臼町の中学生が応募160作品の中から最優秀賞に選ばれ、高橋知事から直接表彰状が贈られました。

# 地域創生推進事業 北方領土モノがたり事業

根室振興局の独自事業として、平成30年度から「北方領土モノがたり事業」を実施しています。この事業は、北方領土隣接地域として領土返還に向けた世論の機運醸成を図るため、北方領土問題に「触れる」「学ぶ」「知る」の3本を軸に、根室管内の魅力（自然・歴史・文化・食など）を活かし、観光と連動した北方領土問題の啓発活動を展開していきます。

## 野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる 北方領土遺産ツアー 《触れる》



野付半島ネイチャーセンターでの遺跡に関するレクチャーの様子



遺跡で見つかった磁器などについての解説がありました。

野付半島の先端にある「野付通行屋跡」を訪ねる北方領土遺産ツアーを別海町郷土資料館との共催により4月22日（日）に実施しました。

かつて国後島に渡るための要所であった「野付通行屋跡遺跡」に触れてもらうことで、北方領土問題に対する興味や関心を高めるとともに一層の理解促進を図ることを目的に、別海町郷土資料館と連携して実施しております。

～「野付通行屋」について～

・寛政11年（1799年）に江戸幕府が国後島へ渡るための交通の要所として野付半島の先端に設置した宿泊施設です。

・寛政元年（1789年）に起こったクナシリ・メナシの戦いや寛政4年（1792年）にロシアの使節であるラスクマンが来根するなど、国防上の問題が北海道（当時は「蝦夷地」）にあったこと、また、野付半島が国後島へ渡る最短のルートであったことなどから設置されたのではないかとされています。

・平成15年から17年にかけて別海町郷土資料館による発掘調査が行われ、遺跡の全長が明らかとなり、遺跡の機能を想定できるまで整理することができたとのことです。調査の結果、建物の位置、お墓の位置、畑の跡などが発見され、また、陶磁器類などの遺物が約1万2千点ほど出土しています。

・野付半島には幻の町「キラク」があったという伝説があります。「キラク」には武家屋敷や遊郭、鍛冶屋などたくさんの建物が立ち並んでいたと言われていますが、明確な証拠はなく、歴史ロマンをかき立てる物語として語られています。

## 北方領土モノがたり事業展示会など 《学ぶ》

公益社団法人北海道倶楽部と連携し、東京で開催された交流イベントにおいて、根室管内の訪問客拡大のための観光PRや北方領土問題の理解を深めるパネル展の実施しました。（平成30年10月19日）

また、北方領土遺産パネルを制作し、公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟が札幌市地下歩行空間で開催したイベント「学ぼう北方領土」において展示しました。（平成31年3月2日～3日）



交流イベント出展ブース



北方領土遺産パネル展

北方領土問題を「知る」きっかけ作りとして、インターネットにより気軽に返還要求運動に参加できる「千島桜満開プロジェクト」のホームページを平成30年11月から開設しています。このホームページにアクセスし、根室管内で撮影した写真や北方領土問題に向けたメッセージを投稿すると、北方領土返還要求運動のシンボルの花「千島桜」がホームページ上の日本地図に一輪咲く仕組みとなっています。日本地図を「千島桜」でいっぱいにして、返還要求運動の後押しをするとともに、投稿写真を通じて根室管内の魅力を発信しています。



あなたの  
四島への想い、  
形にしてみませんか？

— 誰でも気軽に参加できる返還要求運動の新たな形をご提案します。 —

北方領土モノがたり事業

## 千島桜満開プロジェクト

～ 手のひらに咲く、四島への想い ～

このプロジェクトは、根室管内で撮影された写真や北方領土問題に向けたメッセージを送っていただくことでWeb上の日本地図を北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜」でいっぱいにして返還要求運動の後押しをしようとするものです。



HPへのアクセスはこちらから  
<https://hokkaido-chishimazakura.jp/>

根室地域で撮影した写真と共に北方領土問題への想いをお寄せください。

根室振興局北方領土対策課

### 投稿方法



#### STEP 1

ホームページにアクセス  
<https://hokkaido-chishimazakura.jp/>



#### STEP 2

投稿フォームに写真と  
メッセージを入力



#### STEP 3

利用規約を読み投稿

COMPLETE

#### STEP 4

千島桜満開マップに  
千島桜が咲花

### 【投稿写真から】



清隆寺の千島桜



四島のかけ橋

# 北方領土は日本固有の領土



▲ 日魯通好条約(1855年)  
国境は、択捉島とウルップ島の間と定められた。樺太については従来通りの混住の地とされた。



▲ 樺太千島交換条約(1875年)  
日本が樺太を放棄する代償としてロシアから千島列島を譲り受けた。



▲ ポーツマス条約(1905年)  
日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となった。



▲ サンフランシスコ平和条約(1951年)  
日本は、北緯50度以南の南樺太及び千島列島(クリル諸島)に対する権利を放棄した。

## 編集・発行

北海道北方領土対策根室地域本部北方領土対策室

〒087-8588 根室市常盤町3丁目28番地

TEL.(0153)-24-5592 FAX(0153)-23-5336

【ホームページアドレス】

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/hrn/>

写真表紙 中央上 四島交流受入(一般:網走市)帰港  
左下 四島交流受入(青少年:札幌市)チアダンス体験  
右下 四島交流受入(一般:富山県)富山の歴史の学習